

## サスラバーカンパニー CSRレポート

**事業内容:** 自動車用ホース、ゴム窓枠用シール材、工業用型物ゴム部品の生産・販売  
**敷地面積:** 86,700m<sup>2</sup>  
**従業員数:** 74人(2009年6月末現在)  
**所在地:** 474 Newell Street, Painesville, Oh 44077, U.S.A.



### 社長ご挨拶



中林 義久

サスラバーカンパニーは1937年に創業し、1992年に横浜ゴムグループの一員となりました。工業製品部門とホース部門の2部門からなり、工業製品部門では大量輸送機関向けのガasket、ドアエッジなどを製造し大手のバス、車両会社に納入しています。また最近、軍需向けのガasketの納入も始めました。ホース部門は自動車用のパワーステアリングおよびエアコン用ホースを製造し、トヨタ自動車(株)をはじめ、米国の

大手自動車会社にも納入しています。当社は住宅地に隣接しており、設立当初より地域社会と共存共栄する会社を目指し、従来から精練工程の粉塵対策、油の外部流出防止などを積極的に実施し、これまでに周辺住民からの苦情はありません。地域社会との共存の一環として、2009年4月の「Earth Day(地球の日)」に、地元小学校に苗木を寄付し式典に出席しました。その中で、生徒の環境保護に対する宣誓があるなど、環境保護に対する認識は高まりつつありますが、一般的に未だ認識が低いのが現状です。当社はこの地域でのモデルとなるべく努力していきます。

### 主な地域との交流活動

2009年4月の「Earth Day(地球の日)」に、地元小学校に苗木を寄付しました。その後、同校で行われた式典にも出席しました。



式典で記念品を受け取る中林社長(左)

### 健康への取り組み

従業員の健康にも配慮しています。工場内に2つの散歩道を作ったほか、従業員全員に万歩計を渡し、毎日の歩数を専用カードに記録しています。



散歩道の入り口

### 2009年度環境方針

- (1) 全ての活動分野で環境に配慮した施策に取り組む。
- (2) 環境マネジメントシステムを構築、強化し、継続的な改良活動と最新の技術、コスト効果の高い解決策によって環境汚染の防止に努める。
- (3) 法律や直轄機関の定める要求、その他の環境規則に従う。
- (4) 廃棄物の削減、リサイクル、再利用などを通じて汚染防止目標を設定することで天然資源の保護に努める。
- (5) 省エネルギー活動、エネルギー効率の改善、再利用できるエネルギー源の優先使用などを通じてエネルギーの有効活用に努める。
- (6) 公の環境福祉と協力することに加え、従業員へ教育とトレーニング計画などの環境情報を提供する。
- (7) ビジネスプロセスの継続的な改善に努める。環境マネジメントシステムによって環境目標を設定し、年一回見直しを行う。

### 環境データ(年度は1~12月)

項目	2006年度	2007年度	2008年度	
廃棄物発生量(トン)	570	328	309	
エネルギー使用量 (原油換算:千kl)	電力	1.4	1.3	1.3
	燃料	0.5	0.6	0.6
	合計	1.9	1.9	1.9
温室効果ガス排出量(千トン-CO <sub>2</sub> )	4.3	4.2	3.9	
水使用量(千m <sup>3</sup> )	14	10	7	

※2007年度までの温室効果ガス排出量の算定は、電力排出係数:0.59kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用

※2008年度の温室効果ガス排出量の算定は、日本の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用